人工透析を行っている宮城県内の医療機関対象

宮城県の水道民営化問題に関するアンケート結果

期間：2021年９月６日～９月２７日

回答：30機関　回答率：41.7%

1）災害時、水道の給水がストップした場合、貴医療機関ではどのような対策を取られますか？

・飲用水のみ備蓄用の水を用意している（２～３日程度）
・災害用浄水装置を備えており、井水をろ過し、飲用水として供給している
・貯水槽の水を使用
・給水車対応、長期断水の場合は別途検討
・８日間維持可能、その間に復旧しない場合、トリアージトランスポートを実施
・自衛隊に依頼（要請）する（同内容２件）
・給水車の要請
・井水のろ過
・市役所に連絡して優先的に給水してもらうようにしている
・給水車を頼む。透析患者を他院に紹介する。
・特に対策を講じていない
・貯水タンクあり（約３～５日分）
・水道事業者に対して給水車による給水を依頼する。（同内容３件）
・水道管が破裂すると動きようがない。水道局にお願いする。
・県の水道局からの給水をお願いする。
・災害拠点病院のため透析をおこなうため、トラック、ローリーなど用いて
水を運ぶ依頼を出します。
・他院への患者依頼、自衛隊への水供給依頼（給水車等）
・水道局に連絡し、給水車を依頼する
・対策はないです。速やかに復旧して頂くか行政より給水車を要請します。
・配水車を依頼することになります。
・同一法人の市水道事業所の給水車で確保する予定
・貯水タンク有（だだし、飲み水の容量は約１ヶ月分）。災害拠点指定病院のため、
市から優先的に給水車で供給される。
・地元自治体に優先供給の依頼を実施。ダメであれば、災害拠点病院への患者転送
・対策なし
・給水車の手配をし、それができない場合は他院でも透析を考える

2）民営化した場合、人工透析水の原水となる水道水の水質の変化に心配はありませんか？

ア．心配がある（　15　）　イ．心配はない（５　）　ウ．わからない（10　）

●水質悪化した場合の対応策があればご記入ください。

・透析にはフィルターを通した水を使用しているが、水質の悪化は困る
・フィルターを増設する。水質悪化の場合、機器本体の劣化が早まることなども懸念される。
また、それらによる費用の面での心配もある。
・RO装置で充分ば対策をしている
・現状ではない

・RO装置を使用する。早めのフィルター交換が必要
・水道悪化は治療に影響が出るため、受け入れられない。当然請負業者にお願いする。
・塩素の加減では、カーボンフィルターに影響あり
・現状心配していませんが、悪化するようなことであれば困ります。
・対応策は無い。水質が一定まで戻るまでは透析は行わない（給水が
ストップした場合と同じ対策）
・水質改善の為の浄化装置を設置せざるを得ません。
・水質管理の強化
・なし
・フィルター交換の頻度が多くなり経費増になる、対応策はない
・水処理装置のフィルターの交換頻度を増やす

3)水道料金について、値上げの心配はありませんか？

ア．心配がある(21)　イ．心配はない(0)　ウ．わからない(9)

●値上げされた場合、どの程度であれば許容できますか？

・許容は出来ない
・具体的な許容値は不明であるが、上げ幅が少ない方が望ましい
・経営に直結するため、値上げは困る
・どの程度でも許容できない
・わからないが病院で検討
・現在の水質を保ち、現在の料金でお願いする。
・許容できない
・できない。値下げであれば、民営化が良い
・仕方がないと思う
・しないで欲しい。下げて欲しい。
・10～20％
・許容できない
・値上げには賛成できない

4)貴医療機関として水道民営化についてどのようにお考えですか？

ア．賛成(2)　イ．反対(13)　ウ．わからない(15)